



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京都大学の知にふれる Kyoto University Public Lecture "Shunju Kougi" Autumn 2019

公開講座 春秋講義

会場：京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール（京都市左京区吉田本町）

令和元年度秋季講座

受講料無料・申し込み不要※



平成を振り返って 自然災害への 心構え

平成の30年間は東日本大震災や阪神・淡路大震災などいくつもの自然災害に見舞われました。多面的な自然災害の対策を知っていただき、心構えをお持ちいただく機会としたいと思います。

主催：京都大学 後援：京都府/京都市

9月8日

13:00-14:30

平成の災害に学ぶ災害への備え

矢守克也 防災研究所教授（防災心理学、社会心理学）



14:50-16:20

将来の地震の揺れを
予測する

関口春子 防災研究所准教授（強震動地震学）



9月29日

13:00-14:30

平成の地震災害を振り返る
—何を学び何を伝えるのか—

清野純史 工学研究科 教授（地震工学、ライフライン工学）



14:50-16:20

知っているようで知らない
強風災害 —強化する台風に備える—

西嶋一欽 防災研究所准教授（自然災害リスクマネジメント）



各講義とも
当日先着順

● 入れ替え制ではありません。
● 2 講義連続の受講をお勧めいたします。

受講定員：500名

13:00-16:20 開場 12:30

- 会場の混雑状況により、立ち見のお願いまたは入場制限のお願いをさせていただく場合があります。
- 各講演開始後 30 分以上経過してからのご入場は、お断りさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

京大力、新拠点。



問い合わせ先：京都大学総務部渉外課

※2020年度より事前申し込み制となります

2022年、京都大学は創立125周年を迎えます。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL：075-753-5342（月曜日～金曜日 9:00-17:00）FAX：075-753-2246 E-mail：event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

京都大学の知にふれる

公開講座 春秋講義

受講料無料・申し込み不要 各講義とも当日先着順

春秋講義は、京都大学における学術研究活動の中で培われてきた知的資源について、広く学内外の人々と共有を図るため、1988(昭和63)年秋から開講している公開講座です。年に2回、春と秋にテーマをもうけ講義を行います。

令和元年度 秋季講座 *Kyoto University Public Lecture "Shunju Kougi" Autumn 2019*

[テーマ]



平成を振り返って－自然災害への心構え

9月8日 日

13:00-14:30

平成の災害に学ぶ災害への備え

矢守 克也 防災研究所 教授 (防災心理学、社会心理学)



平成の世におきた災害を振り返り、防災心理学の立場から、災害への備えについて考えます。具体的には、阪神・淡路大震災(平成7年)の教訓を教材化した「クロスロード」、東日本大震災(平成23年)の経験をもとに制作した「津波避難訓練支援アプリ「逃げトレ」」、西日本豪雨(平成30年)を踏まえて提起した「避難スイッチ/セカンドベスト避難術」についてお話しします。

14:50-16:20

将来の地震の揺れを予測する

関口 春子 防災研究所 准教授 (強震動地質学)



平成の時代には多くの大地震が発生しました。震源断層が破壊し、地震波が発生して地殻内を伝播し、軟らかい地盤で増幅するプロセスを再現する努力が重ねられてきました。そこで得られた知見、また、大地震を契機に実施された地下構造探査で得られた知見を使って、将来、どのような地震が起こり、どのような揺れが発生するのかが予測されています。再現や予測の現状を紹介し、予測結果をどう活用するかについて考えます。

9月29日 日

13:00-14:30

平成の地震災害を振り返る

—何を学び何を伝えるのか—

清野 純史 工学研究科 教授 (地震工学、ライフライン工学)



近年の都市型地震災害の典型である1995年の兵庫県南部地震や、大津波による大規模な人的・物的被害が生じた2011年の東北地方太平洋沖地震、震度7の強烈な揺れが2度続いた2016年の熊本地震を始めとして、平成では数多くの大地震が起こりました。南海トラフの巨大地震や首都直下地震も近い将来の発生が指摘されていますが、我々は過去の地震で何を学び、それをどう生かしていくべきなのかを考えてみます。

14:50-16:20

知っているようで知らない強風災害

—強化化する台風への備え—

西嶋 一欽 防災研究所 准教授 (自然災害リスクマネジメント)



昨年9月近畿地方を中心に大きな被害をもたらした台風21号。なぜこれほど大きな被害になったのでしょうか。想定以上の風が吹いたのでしょうか、それとも建物が弱かったのでしょうか。そもそも、強風被害はどのようなメカニズムで発生するのでしょうか。強化化した台風が襲来すると何が起こるのでしょうか。そして、その対策は? この講義では、これらの疑問に答えながら、個人として社会としてどのような備えが必要かを解説します。



[会場]

京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール

京都市左京区吉田本町

[アクセス]

市バス 系統 31・65・201・206「京大正門前」下車

系統 3・17・203「百万遍」下車

京阪電車、叡山電鉄「出町柳」下車、徒歩20分

※ 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

「公開講座お知らせメール」について



京都大学総務部渉外課では、ご登録いただいた方に、公開講座など開催ごとにメール、FAXで情報をお知らせします。

メールでの案内をご希望の方は、公開講座等ホームページ

(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/open_course)の「公開講座お知らせメール受付」ページ内「公開講座お知らせメール登録受付」のフォームからお申し込みください。

FAXでの案内をご希望の方は、「公開講座案内希望」と明記の上、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号を記入し、075-753-2246まで送信してください。